



4組の移住者の「いがぐらし」をご紹介！

伊賀人のくらし

あなたの**未来**に重ねてください



iga-city

伊賀市の魅力は、
『豊かな自然のなかにありながら、
程よく便利な生活ができること』

あなたの移住をサポート！

移住コンシェルジュ窓口 ☎ 0595-22-9680

移住交流ポータルサイトで情報公開中！

伊賀市 移住 検索



〒518-8501
三重県伊賀市四十九町3184番地
伊賀市企画振興部
地域づくり推進課 移住交流係
TEL 0595-22-9680
FAX 0595-22-9694
E-mail chiikidukuri@city.iga.lg.jp

ここでみつけた自分らしい生き方

四季折々に違う顔をみせる 豊かな自然
幾重の時間のなかで紡がれた歴史と文化
そして 温かな人と人との繋がり
伊賀で織りなされる日々の暮らしには
どこか懐かしく 人を惹きつける魅力があります。

私たちは

このまちを愛し ここでの暮らしを愛するひとを
伊賀人(いがびと)と呼んでいます。

私たちは

このまちを愛し ここでの暮らしを愛するひとを
伊賀市に移り住み 新たな生活をはじめた
4組の「いがびと」が大切にしている考え方や
日々の生活などを紹介しています。

ここでは
ぜひあなたの未来と重ね合わせ

新しい暮らしを 思い浮かべてみてください。
人生が拓かれる その瞬間が訪れるかもしれません。



いがびと 伊賀人のくらし

contents

ここに来て自分の存在が明確になった
暮らしてみて見えてきた夢のかたち
徳永龍雄さん・紀江さん 4~5p

キャラクターが地域で躍動
クリエーターは地方でこそ活躍できる
久保千晴さん・孝之さん 6~7p

人生の歯車は突然まわりだした
自分らしく生きるために
加納克典さん・嶋田全宏さん 8~9p

暮らしも仕事も充実
地域に密着したパン屋をめざして
武藤邦弘さん・晴美さん 10~11p

キャラクターが地域で躍動！

クリエーターは
地方でこそ活躍できる

久保 千晴さん (35)
孝之さん (36)

- 愛知県から
- 伊賀市伊勢路 在住
- 移住年月: 2016年11月
- 家族形態: 夫婦

2019年1月1日時点

伊賀市を選んだ理由は？

夫の大阪への転職が決まり、通勤圏内で移住先を探していました。そんな時、伊賀市にある古民家宿の宿泊券が当たりました。宿泊した日に偶然、公民館教室の稲刈り体验があり飛び入り参加。自然の豊かさを感じながら、とてもゆっくり過ごすことができました。何より地域の人々が魅力的で、こんな場所に住みたいと思いました。

求めるものがすべてそろっていた

キーワードは「人」だと思います。移住後、すぐに近所のおばあちゃんと仲良くなりました。とてもかわいいがってく、地域の行事や習慣などを教えてくれました。また、公民館教室などにボランティアスタッフとして参加することで、幅広い年代の人々と知り合うことができました。つながりの輪が大きくなると、地域にも居場所ができる日常生活中に安定感が増しました。

地方には
チャンスがある
仕事に変化はありましたか？

私は、パンダキャラクター専門のイラストレーターです。移住後に地域の人とのつながりで、地元観光地のお土産コーナーや名阪国道のドライブインにグッズを置いてもらえるようになりました。また、地域で歩き回っている感じですね。

地域のイベントでキャラクターが大活躍している感じですね。パンダが勝手にもらえるようになりました。また、新しい役割と魂を与えられ、キャラクターがさらに魅力的ななった気がします。

空き家バンク制度を利用して一戸建ての物件を購入したので、作業スペースには不自由しません。何より心身ともに落ち着いた環境の中で創作に取り組めるのがうれしいですね。以前は名古屋を中心で活動していましたが、伊賀市に来てからは、京都や大阪などの関西圏にもマーケットが広がりました。地方こそクリエーターが活躍できるところだと思います。



活用したサポート制度

住まい探し

【市】伊賀流
空き家バンク制度

住まい購入

【市】
空き家取得費補助金

住まい改修

【市】
伊賀流安心住宅プラン
安心住宅リフォーム補助金

住まいに関するサポートは

移住コンシェルジュ

へご相談ください！

伊賀市 移住

検索

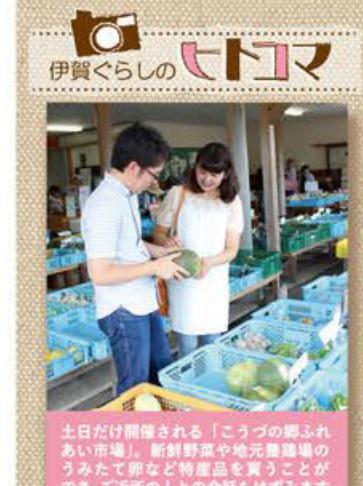
詳しくは、移住交流ポータルサイト



土日だけ開催される「こうづの郷ふれあい市場」。新鮮野菜や地元養鶏場のうみたて卵など特産品を買うことができ、ご近所の人との会話もはずみます。

一戸建てに移り住んだことで、作業効率が格段にアップ！制作環境が充実し、集中して取り組めることでアイデアの幅も広がりました。

パンダさんの伊賀らいふ



地域にとびこみ
人々とふれあう



地域にとびこみ
人々とふれあう

地域の人の良さは、触れ合ってみないとわかりません。思い切って地域に飛び込み、自分から積極的に関わっていくことが、さまざまな世代の人たちと仲良くなる近道です。地域のことを教えてもらうだけでなく、お互いが意見や提案ができるような関係づくりのきっかけになります。

家主さんからのつながりを
大切にしていく

朝は近所のおばあちゃんの家でコーヒーを飲むのが日課です。この家に住んでいた家主さんが、近所のおばあちゃんとつなげてくれました。そこから交流がはじまり、今では私を孫のようにかわいがってくれています。家主さんから紹介してもらったことで、お互いに安心できました。



地域の人たちとの出会いの中で
自分のキャラクターを
人と人とのつなぐコミュニケーションの手段として
使ってもらいたいという新しい考え方ができました。

3 庭の可能性は無限大！
2 クリエーター仲間を見つける！
1 住みやすい環境は自分でつくる！

伊賀ぐらしの先輩 久保さん流
移住のススメ

1 住みやすい環境は自分でつくる！

楽しく住みやすい環境は、自分でつくっていく必要があると考えています。だからこそ、地域行事には積極的に参加し、こちらから関わを持つようになっています。地域が楽しくなると、自分たちの生活もより楽しいものになると思います。

2 クリエーター仲間を見つける！

イラストレーター仲間からは、専門的な画材を購入できる場所や使い心地などの情報を得ることができます。また、異なるジャンルの人との交流によって、新たな発想が生まれ、創作の幅が広がります。

3 庭の可能性は無限大！

家の裏庭には梅の木があります。実をシロップ漬けにしてお客様にふるまつところ大好評でした。季節の恵みが無料で手に入るなんてすごいことだと思います。また、休日にはブチアウトドアでホットケーキを作り、朝食を楽しんでいます。庭の可能性は無限大です♪



リフォーム済みの空き家を購入しました。大幅な修繕工事をする必要がなく、前の業主さんが残した家具はリメイクして大切に使っています。



ご近所から譲り受けた耕運機。操作にも慣れ、農作業にも余裕が出てきました。



料理教室で地域デビュー。そば打ち体験をおおして、またひとつつながりが出来ました。



庭の草花を活用してドクダミの化粧水、ヘビイチゴのかゆみ止め、クローブの虫よけなどを作っています。情報源はインターネット。いろいろ検索してチャレンジしています。



LGBTって?

女性同性愛者であるレズビアン、男性同性愛者であるゲイ、両性愛者のバイセクシャル、自分の身体的性別に違和感を持つトランスジェンダーの頭文字をとった「LGBT(エルジーピーティ)」と読み、性的マイノリティ(少数者)の総称として使われます。

同性パートナーシップ宣誓制度って?

同性カップルを公的にパートナーと認める制度。伊賀市ではカップルに、受領証を交付します。受領証を提示すると次のことが可能になります。

伊賀市では
●市立病院での病状説明・手術の同意
●市営住宅への入居申請

一部民間企業では
●パートナーを受取人にした保険契約
●携帯電話の家族割サービスの申請など



自分らしく暮らせるまち

LGBTの人は、約20人に1人存在するとと言われています。※伊賀市には、[同性パートナーシップ宣誓制度](#)があり、自分たちもパートナーとしての関係性を認められ自信がつきました。担当課に相談できるため心強く、安心して自分らしく暮らせるようになりました。

※2012年電通総研調べ



一人でも多くの人にLGBTの存在を知ってほしい

性のあり方は人それぞれで、100人いれば100通りあります。そのことを知ってもらうために仲間と共に小学校でLGBTについての講演をしました。一人で抱え込まず信頼できる人に相談してほしいですし、多くの人にLGBTの存在を知ってもらい、多様性を尊重する社会になることを願っています。



加納 克典さん (39)

嶋田 全宏さん (42)

- 大阪府から
- 伊賀市猪田 在住
- 移住年月: 2016年7月
- 家族形態: パートナー

2019年1月1日時点

人生の歯車は突然まわりだした 自分らしく生きるために

就農の夢も一人三脚で 移住後の変化は?

移住と共に農業にチャレンジすることを決めていました。ただし、リスクを減らすために2人で相談し、

就農の夢も一人三脚で 移住後の変化は?

移住と共に農業にチャレンジすることを決めていました。ただし、リスクを減らすために2人で相談し、

2人とも漠然と田舎暮らしに憧れを持っていました。情報収集に立ち寄った移住相談会で、伊賀市移住コンシェルジュとの運命的な出会いがありました。心のこもった丁寧な対応に「何かあっても助けてくれる。ここなら安心して暮らせる」と、一気に気持ちが固まりました。

また、伊賀市には同性パートナーシップ宣誓制度があり、自分たちのようない性カップルなど、性的マイノリティが住みやすいまちであることでも理由のひとつです。

伊賀市を選んだ理由は? 移住を決めた

伊賀市は職業訓練校で介護関係の資格をとって、現在は介護老人保健施設で働いています。



活用したサポート制度

住まい購入

- 【市】空き家取得費補助金

農業技術・経営ノウハウの習得

- 【県】農業次世代人材投資事業(準備型)

就農開始後のサポート

- 【県など】伊賀地域農業改良普及センター JAいがふるさと農業協同組合

住まい・就農に関するサポートは 移住コンシェルジュ

へご相談ください!

伊賀市 移住

検索

三重県農業大学校って?

松阪市にある就農をめざす人を対象とした県の研修機関。水田作、茶業、野菜、花き、果樹、畜産の6つのコースがあり、農業を経営するためのノウハウを学ぶことができます。

移住のススメ

就農はハードルが高い
相談窓口の積極活用を!

今は消費者に直接手にとってもらえる直売所へ出荷しています。将来的には農地面積を大きくして生産量を増やし、出荷の規模を広げていきたいと考えています。

経験のない人が農業をはじめるには、技術の習得や農地の確保、初期費用など、さまざまなハードルがあります。自分だけで悩まず、県や市の就農相談窓口を利用することをおすすめします。事前に課題を整理し、解決の方法を考え、就農と安定的な経営へのロードマップを描きましょう。

就農はハードルが高い 相談窓口の積極活用を!

就農はハードルが高い
相談窓口の積極活用を!

